

実習内容  
ならびに  
スケジュール

脳神経外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	カンファレンス、オリエンテーション 手術見学	飯田	7:45	1号館10階医局
	昼食 手術見学または症例検討	蔵本	13:00	1号館10階医局
火	カンファレンス、回診 顕微鏡による血管吻合	栗原	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討	陰山	13:00	1号館10階医局
水	カンファレンス 手術見学または症例検討	辻	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討	立林	13:00	1号館10階医局
木	カンファレンス、回診 手術見学または症例検討	白川	8:00	1号館10階医局
	昼食 症例検討	蔵本	13:00	1号館10階医局
金	カンファレンス まとめ	阪本	8:00	1号館10階医局
	昼食 まとめ	吉村	13:00	1号館10階医局

◎ 診療科名： 脳神経外科

◎ 責任者氏名： 吉村 紳一 主任教授

◎ 指導教員氏名： 飯田 倫子 助教

◎ 実習概要

1.カンファレンス、2.教授回診、3.病棟実習、4.クルズス、5.模擬実習（顕微鏡を用いた血管縫合）、6.手術見学、7.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、脳神経外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 脳神経外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- 脳神経外科領域の患者の神経学的所見がとれる。
- 治療計画を立てることができる。
- 患者の立場に立った対応ができる。
- 手術室における所作、清潔・不潔が身についている。
- 英語を用いたケースプレゼンテーションができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 3年次の講義資料の主要疾患について復習すること（1日間）
- 脳神経外科教科書の主要疾患について読んでおくこと（3時間）
- 脳、脊髄の解剖・生理につき復習しておくこと（3時間）

## ◎ 評価方法

(知識、技術、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	代表的疾患について治療計画を説明できる。	代表的疾患についてアセスメントができる。	代表的疾患について概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
	診断に必要な画像を選択、説明できる。	示された画像につき説明できる。	疾患ごとの画像を理解している。	一部の疾患の画像診断ができる。
技術	疾患や画像所見を元にした神経学的所見がとれ、説明できる。	神経学的所見をとることができ、結果を説明できる。	神経学的所見をとり、部分的に評価できる。	神経学的所見の知識がある。
	手術室におけるガウンテクニックを実践でき、指導できる。	手術室におけるガウンテクニックを自分でできる。	手術室におけるガウンテクニックを補助の元に行える。	手術室におけるガウンテクニックの知識がある。
	英語でのケースプレゼンテーションを自分で作成し行う。(英語の上手さは問わない)	指導医と相談し、英語でのケースプレゼンテーションを行う。(英語の上手さは問わない)	指導医が作成した英文を理解しプレゼンテーションができる。(英語の上手さは問わない)	指導医が作成した英文をプレゼンテーションすることができる。(英語の上手さは問わない)
態度	チーム診療を理解し、チームの一員として診療・治療にあたる。	チーム診療を理解し、積極的に参加する。	チーム診療を理解するが、やや消極的。	チームによる診療の必要性が理解できる。
	実習の意義を理解し、積極的に参加する。	積極的に質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	消極的で質問がない。

## ◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

各実習、講義、手術や検査の見学に出席すること。

カンファレンスで、各担当した症例のプレゼンテーションを英語で行う。

但し、英語発表において一切の減点はしない。

金曜日、午前または午後 総括。

## ◎ 中間評価とフィードバック

一週間の実習のため中間評価は特に行わない。

## ◎ 注意事項

- 初日は7時45分に脳神経外科医局（1号館10階）に集合すること。
- 必ず教科書を持参すること。
- 毎朝8時00分からのカンファレンスに出席すること。
- ハッピーマンデーの開院日（敬老の日と成人の日）は休日とする。